令和２年４月２７日 満開を迎えた桜が眺められる臨時休校中の教室にて撮影

新型コロナの影響 ～「新しい生活様式」～

新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、春季休業日も含めて令和元年度から２年度にまたがり、合計で５５日間生徒たちは学校へ登校できなくなりました。２月２９日に在校生たちが準備した会場で、翌日の３月１日、在校生と保護者が参加することのないままに卒業生が学び舎を巣立っていき、その日から１，２年生の臨時休校が始まりました。

年度が明けた４月７日には、これも在校生が参加せず、保護者各１名のみの参加で入学式が執り行われました。４月１８日から再び臨時休校措置が５月１０日まで（当初は５月６日までの予定）取られましたが、１年生にとっては、高校生活が始まって２週間経たないうちの出来事でした。

５月は３年生たちにとって悲しいニュースが相次ぎました。３年生たちの最後の大会となるはずだった全県高校総体とそれにつながるインターハイの中止が発表されたのです。また、甲子園大会とその県予選中止のニュースもその後に続きました。全県総体に出場することなく部活動を引退した３年生たちは、受験モードに気持ちを切り替えています。

生徒関連の行事にとどまらず、ＰＴＡや同窓会関係の年度当初に予定されてい

入学式

１年生の応援歌練習

生徒総会１

た行事も取りやめとなりました。第１回の評議員会も同様でした。

５月下旬から少しずつではありますが、学校も段階的に従来の教育活動を「新しい生活様式」に照らし合わせて再開しています。交通安全教室は１，２年生が体育館で行い、３年生はＨＲ担任の指導のもとに教室で行いました。５月２７日には全校生徒が体育館に集まって生徒総会が行われました。１年生たちにとっては４月５日に入学して初めての全校集会でした。６月１日から３日間、応援歌練習も行われました。

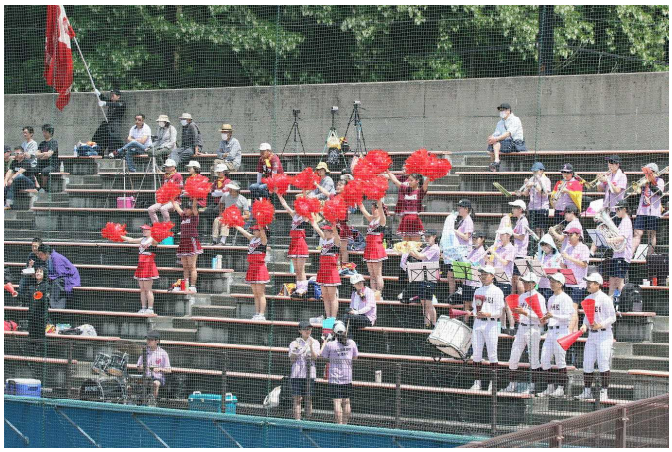
先日、無事鳳鳴祭も終了しました。詳しくは後半をご覧ください。保護者や外部の方々による来校は制限する形ではありましたが、少しずつ学校は本来の姿を取り戻しつつあります。

臨時休校中から学校に現れた変化は、教育活動のＩＣＴ化です。休校期間中、ＨＲ担任の先生たちは、生徒に出した課題の点検を「Classi」という通信ソフトを用いて確認したり、課題の動画を「Classi」にアップしたりしていました。会議ソフトを使用して、質問をやりとりする先生もいました。

臨時休業開け、この動きは少しずつ顕著になってきました。会議ソフトを用いて、地理の授業では極地探検家と授業で交流したり、英語の授業では、他校の生徒とディスカッションをする教員も見られました。

「新しい生活様式」に合わせた学校生活が少しずつ動き出しているのを実感しています。

生徒総会２



野球部の紅白試合６月６日達子森球場１

野球部の紅白試合６／６（土）達子森球場２

野球部の紅白試合６／６（土）達達子森球場３

６／２４（水）に実施された避難訓練

避難訓練後行われた全校生徒による応援歌練習